

2024年4月2日
ソニーグループ株式会社
エムスリー株式会社

エンタテインメントロボット“aibo”(アイボ) 医療・ヘルスケア領域における貢献や活用に関する調査結果を公開

ソニーグループ株式会社(以下、ソニー)とエムスリー株式会社(以下、エムスリー)は、自律型エンタテインメントロボット“aibo”(アイボ)を医療機関に無償提供する aibo 医療機関支援プロジェクトにおいて、医療・ヘルスケア領域における貢献や活用に関する調査結果を公開しました。

本調査結果はこちらからご覧いただけます。<https://aibo.sony.jp/csr/medicalwelfare.html>



aibo 医療機関支援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症入院患者のストレス軽減や癒しを目的に、全国の医療機関にaibo 100台を無償提供

2021年から2024年3月末まで実施したaibo医療機関支援プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けている入院患者のストレス軽減や癒しを目的として、aibo100台を全国の医療機関に対し3年間無償提供する取り組みです。ソニーが設立した「新型コロナウイルス・ソニーグローバル支援基金」をきっかけとして、患者の「願い」をかなえ、前向きに生きていく力・治療に向かう勇気を引き出すエムスリーのプロジェクト「CaNoW※1」とソニーの協業により実現に至りました。

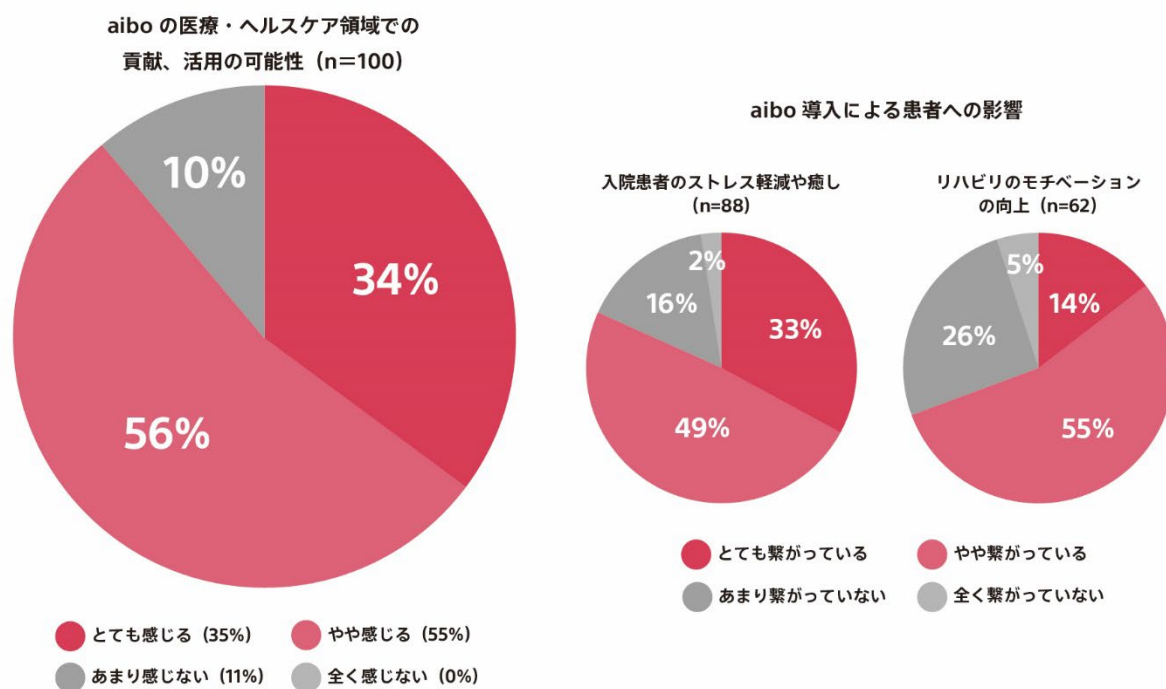
本取り組みでは、公募により選ばれた全国100施設の医療機関に対して、3年間にわたり、aiboの提供およびフォローアップを行い、定期的にインタビュー調査を実施しました。その結果、aiboの「医療・ヘルスケア領域における貢献や活用の可能性」について、90%がポジティブに感じたという調査結果が得られました。また、回答からはリハビリへの貢献、活用についても可能性が示されました。

本調査から得られた結果をもとに、ソニーとエムスリーは、今後も協力して先端技術を活用することによる医療現場での課題解決や価値創出を目指していきます。

本プロジェクトを通じたaiboの無償提供は2024年3月末に終了します。なお、aiboの継続活用を希望する医療機関に対しては、aibo本体を無償で譲渡します。

調査概要

- ・調査対象：aibo 医療機関支援プロジェクトを通じ aibo を利用した全国 100 施設の医療機関
- ・調査期間：2021 年 4 月—2024 年 3 月
- ・調査結果：「医療・ヘルスケア領域での貢献、活用の可能性」について、全体の 34%が「とても感じる」、56%が「やや感じる」と回答し、合わせて 90%がポジティブに感じているという結果が得られました。また、「入院患者のストレス軽減や癒し」と「リハビリのモチベーションの向上」についても、全体の半数以上がポジティブな回答であり、aibo が様々な患者に対し活用・貢献できる可能性が示されました。



医療機関によるコメント(調査結果より一部抜粋)

- ・「長期入院の患者さんの笑顔や会話が増えた。職員の癒しにもなっている」
- ・「aibo によって医師のメンタルケアができ、周りのスタッフも気持ち良く仕事ができるようになった」
- ・「子どもが採血や点滴投与時に、泣き叫ぶことなく落ち着いてケアを受けることができる」

調査結果の詳細は aibo 公式サイト[の医療機関支援プロジェクトのページ](#)を、aibo を利用いただいた医療機関へのインタビュー映像は [aibo 公式 YouTube チャンネル](#)をご覧ください。

※1 『CaNoW』は、エムスリーが 2019 年 9 月に開始した、企業とのコラボレーションにより患者の「願い」をかなえ、前向きに生きていく力・治療に向かう勇気を引き出すプロジェクトです。詳しくは[公式サイト](#)をご覧ください。

※aibo、アイボ、**aiBO**は、ソニー株式会社の商標です。

※その他、記載されている会社および商品名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

ソニーグループ株式会社 広報部：Sony.Pressroom@sony.co.jp

エムスリー株式会社 広報担当：pr@m3.com